

後編 記集

◆ 各業界でDX（デジタルトランフォーメーション）が求められている中で、農業分野では生産場面でのスマート農業の推進や、流通・販売場面でのデジタルデータ利用による新たなフードチェーンの構築が進められています。一方で、人間も含めた生物の活動の基本はアナログ（連続）的であり、大きなネットワークがあります。

それを全て“デジタルデータ化する”のは難しく、両者のバランスを考えた活用が必要と思われます。

◆ 私たちの脳でも種々の情報伝達の際、アナログとデジタル両方の反応が起こっていることが知られています。人間の脳内には、約一、〇〇〇億個のニューロンという神経細胞からなる壯大なネットワークがあります。隣接するニューロンへの情報伝

達には、直接つながっておらず、空隙がある状態です。そのネットワークに情報が伝わることにより、各種の生体反応が起こっているのです。例えば目などで認識した情報は、活動電位という一つのニューロン内で発生する電気信号によるデジタル反応によりその末端まで伝わります。しかし

◆ 脳による事象認識に関するデジタルデータの数や場所は、経験等の違いから一人一人固有のものです。そのためDXが加速する社会における情報の的確な伝達には、対面による臨機応変なアナログ行動による相互理解がより必要になると考えます。DXによりデジタル情報が、既存の省力化とともに、状況に即応し変化する多様なアナログ情報とのバランスのとれた融合活用により、新たな付加価値の創造に繋がって行くことを期待しています。

（及川 敏之）

DATA FILE 関連事項／DATA

京都大学大学院農学研究科

〒606-8502

京都市左京区北白川追分町
(吉田キャンパス・北部構内)

☎ 075 (753) 6490

ホクレン農業協同組合連合会

〒060-8651

札幌市中央区北4条西1丁目3

☎ 011 (232) 6116

北海道創淵高等学校

〒098-0338

上川郡創淵町仲町22番1号

☎ 0165 (34) 2549

訓子府町役場

〒099-1498

常呂郡訓子府町東町398番地

☎ 0157 (47) 2111

一般社団法人 北海道地域農業研究所

〒060-0806

札幌市北区北6条西1丁目4番地2

☎ 011 (757) 0022

Fax 011 (757) 3111

HP : <https://www.chiikinouken.or.jp>

E-mail : office47@chiikinouken.or.jp



達は、相互の空隙間での神経伝達物質の放出・受容というアナログ的な化学反応で行われます。このデジタルとアナログの交互反応により、様々な情報の伝達が行われるのであります。